

ひとひと 女と男

男女が共に生きるメッセージ

パートナーシップ

問合せ先 企画課男女共同参画推進係 ☎72-2111内線222

市民意識調査へのご協力ありがとうございました

男女共同参画社会の実現に向けて市民の皆さんに日常生活で感じていることなどをお伺いしました。その調査結果がまとまりましたので、その一部を紹介します。

- ◆調査地域 小郡市全域
- ◆調査対象者 満20歳以上の男女個人
- ◆調査対象者数 2,000人
- ◆回収数 1,002人

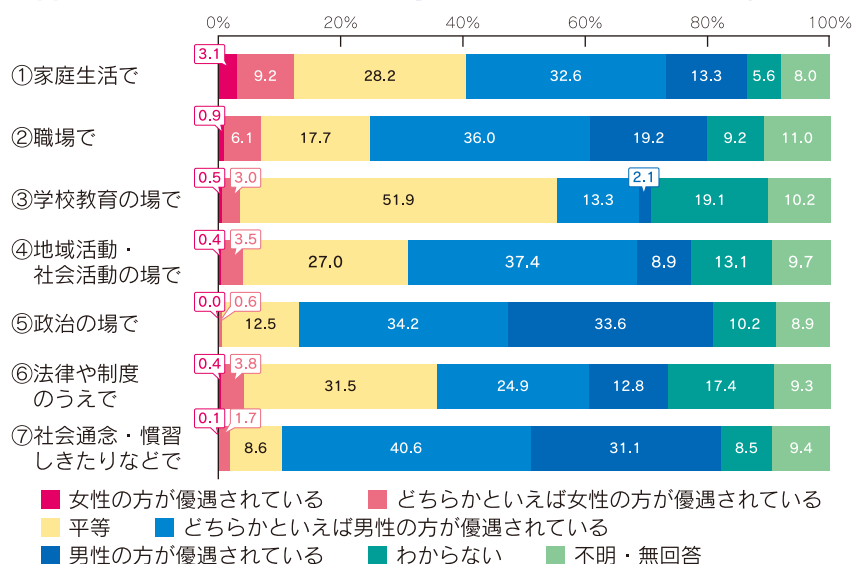
- ◆回収率 50.1%
- ◆対象者 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- ◆調査方法 郵送調査法
- ◆調査期間 平成24年10月4日(木)～19日(金)

右のグラフを見てみましょう。7つの分野で男女の地位の平等感を聞いたところ、「平等」と回答した人は、「③学校教育の場で」(51.9%)が最も多く、次いで「⑥法律や制度のうえで」(31.5%)と続いています。

一方、「⑦社会通念・習慣・しきたりなどで」では、「平等」と回答した人は8.6%と低い割合となっています。あらゆる分野で平等意識を高めるため、今後も男女共同参画の取り組みが必要です。

※グラフの割合を示す数値は、少数第2位で四捨五入しているため、100%にならない場合があります。

各分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか？



◎市民意識調査報告書(冊子、約180ページ)を次の公共施設でご覧いただけます。

市役所本館2階企画課、市役所本館2階ロビー、図書館、あすてらす、生涯学習センター、各校区公民館

小郡市男女共同参画セミナーを開催しました

3月26日、あすてらすで「暮らしの中で・・・」～まずは私ができること～をテーマに今村友香さん(若波酒造合名会社 杜氏)にご講演いただきました。

今村さんは、男女の違いは「個性」の違いであるとの想いから、個性を活かした蔵造りをしていること、休憩時に使用した湯のみ茶碗を以前は女性職員が洗っていたものを各自で洗うことに変えた取り組みを紹介されました。

また、「大きな目標を立てるのではなく、蔵を社会の縮図ととらえ、まずは自分のできることから取り組んでいこうと思う。そして、女性杜氏と呼ばれることがあるが、男女の区別なく杜氏と呼ばれる社会となるように努力していきたい」と力強く語られました。



した。

アンケートでは、「酒造りをしたい一念が次々と人の輪を作り大きな世界が開かれたことで、何よりも目標をきちんと持つことの大事さを痛感する。また、男女の違いは「個性」の違いとの格言が心に残る」「男女共同参画が進まない中、ちょっとしたところから意識改革をしていくことが大切だと思いました」などの感想が出されました。